



## 平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月7日

上場取引所 東

上場会社名 三愛石油株式会社

コード番号 8097 URL <http://www.san-ai-oil.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 金田 準

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長

(氏名) 馬郡 義博

TEL 03-5479-3180

四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	198,810	△9.6	802	△71.1	1,057	△64.4	△1,772	—
24年3月期第1四半期	220,044	6.4	2,779	25.6	2,967	29.0	1,591	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 △611百万円 (—%) 24年3月期第1四半期 1,068百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	△23.86	—
24年3月期第1四半期	21.27	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	204,551	60,281	28.9
24年3月期	217,980	61,671	27.8

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 59,139百万円 24年3月期 60,534百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	6.50	—	8.50	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	6.50	—	6.50	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期期末配当金の内訳 普通配当6円50銭 特別配当1円00銭 記念配当1円00銭

### 3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	950,000	2.3	9,000	△7.7	10,000	△3.9	2,500	△48.2	33.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の業績評価は通期ベースで行っており、第2四半期連結累計期間の業績予想は作成しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、3ページ「2. (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	76,061,923 株	24年3月期	76,061,923 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	1,949,174 株	24年3月期	1,581,096 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	74,263,416 株	24年3月期1Q	74,806,732 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9
(6) セグメント情報等 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、復興需要等を背景として、緩やかに回復しつつあるものの、長引くデフレや電力供給の制約に加え、欧州債務問題による景気の減速が懸念されるなど、先行き不透明な状況で推移した。

エネルギー業界においては、火力発電向けに重油の需要が増加し、燃料油全体での需要は震災の影響を受けた前年同期を上回ったものの、節約志向の高まりや低燃費車の普及などにより、当社グループを取り巻く経営環境は依然として厳しい状況が続いた。

こうしたなかで、当社グループは、積極的な営業活動とともに経営の効率化に努めることで、収益の向上を図った。

その結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は、前年同期比9.6%減の1,988億10百万円となった。また、売上総利益の減少などにより、営業利益が前年同期比71.1%減の8億2百万円、経常利益が前年同期比64.4%減の10億57百万円となり、投資有価証券評価損を特別損失に計上したことなどにより、17億72百万円の四半期純損失(前年同期は15億91百万円の四半期純利益)となった。

セグメントの業績は次のとおりである。

石油関連事業における売上高は前年同期比10.8%減の1,805億36百万円となり、セグメント損失は2億28百万円(前年同期のセグメント利益は、17億61百万円)となった。

ガス関連事業における売上高は前年同期比2.8%増の147億6百万円となり、セグメント利益は前年同期比9.2%増の7億76百万円となった。

航空関連事業他における売上高は前年同期比9.7%増の35億68百万円となり、セグメント利益は前年同期比41.4%増の5億37百万円となった。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ134億28百万円減少し、2,045億51百万円となった。これは主に、受取手形及び売掛金の減少によるものである。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ120億38百万円減少し、1,442億70百万円となった。これは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものである。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ13億89百万円減少し、602億81百万円となった。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによるものである。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の27.8%から28.9%となった。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より94億9百万円増加し、599億91百万円となった。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりである。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は110億30百万円となった。これは主に、売上債権の減少によるものである。なお、獲得した資金は前年同期比89億96百万円増加している。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は3億7百万円となった。これは主に、有形固定資産の取得によるものである。なお、使用した資金は前年同期比62百万円増加している。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は13億13百万円となった。これは主に、配当金の支払いや有利子負債の返済によるものである。なお、使用した資金は前年同期比32億3百万円減少している。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想については、景気の先行きや原油価格の動向などが不透明なことから、平成24年5月10日に公表した数値を修正していない。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項なし

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項なし

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(減価償却方法の変更)

当社および連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更している。

これにより、従来の方法に比べて、当第1四半期連結累計期間の売上総利益は0百万円、営業利益および経常利益は3百万円それぞれ増加し、税金等調整前四半期純損失は3百万円減少している。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	50,774	60,192
受取手形及び売掛金	71,721	52,136
有価証券	139	129
商品及び製品	8,067	6,286
仕掛品	290	320
原材料及び貯蔵品	85	101
その他	2,185	4,291
貸倒引当金	△215	△148
流動資産合計	133,049	123,310
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	59,529	59,487
減価償却累計額	△36,216	△36,645
建物及び構築物（純額）	23,312	22,842
機械装置及び運搬具	29,623	29,702
減価償却累計額	△21,585	△21,863
機械装置及び運搬具（純額）	8,037	7,839
土地	23,085	22,674
その他	6,390	6,682
減価償却累計額	△3,838	△3,995
その他（純額）	2,551	2,686
有形固定資産合計	56,987	56,042
無形固定資産		
のれん	5,741	5,505
その他	1,674	1,619
無形固定資産合計	7,416	7,125
投資その他の資産		
投資有価証券	15,523	13,794
その他	5,291	4,514
貸倒引当金	△288	△235
投資その他の資産合計	20,527	18,073
固定資産合計	84,930	81,241
資産合計	217,980	204,551

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	87,026	78,374
短期借入金	1,690	1,540
1年内返済予定の長期借入金	2,778	2,745
1年内償還予定の社債	2,900	2,900
未払法人税等	3,489	158
賞与引当金	1,690	785
役員賞与引当金	89	18
その他	10,120	11,525
流動負債合計	109,785	98,047
固定負債		
社債	7,200	7,200
長期借入金	21,907	21,669
退職給付引当金	3,694	3,772
役員退職慰労引当金	506	455
特別修繕引当金	372	389
訴訟損失引当金	326	326
資産除去債務	576	578
その他	11,939	11,830
固定負債合計	46,522	46,222
負債合計	156,308	144,270
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,127	10,127
資本剰余金	7,668	7,668
利益剰余金	46,140	43,735
自己株式	△544	△670
株主資本合計	63,391	60,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,870	△730
繰延ヘッジ損益	—	△3
土地再評価差額金	△987	△987
その他の包括利益累計額合計	△2,857	△1,721
少数株主持分	1,137	1,142
純資産合計	61,671	60,281
負債純資産合計	217,980	204,551

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)
売上高		
商品売上高	219,795	198,324
完成工事高	248	486
売上高合計	220,044	198,810
売上原価		
商品売上原価	206,239	186,726
完成工事原価	201	424
売上原価合計	206,441	187,150
売上総利益	13,603	11,660
販売費及び一般管理費	10,823	10,857
営業利益	2,779	802
営業外収益		
受取利息	162	155
受取配当金	175	208
投資有価証券売却益	89	—
軽油引取税交付金	35	32
貸倒引当金戻入額	—	72
その他	99	71
営業外収益合計	562	540
営業外費用		
支払利息	289	261
貸倒引当金繰入額	—	4
その他	85	20
営業外費用合計	375	285
経常利益	2,967	1,057
特別利益		
固定資産売却益	36	39
特別利益合計	36	39
特別損失		
固定資産除売却損	146	69
投資有価証券評価損	56	3,584
退職給付費用	—	47
環境対策費	—	4
訴訟損失引当金繰入額	36	—
貸倒引当金繰入額	4	—
特別損失合計	243	3,705
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失 (△)	2,759	△2,608
法人税、住民税及び事業税	672	137
法人税等調整額	476	△1,014
法人税等合計	1,149	△876
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失 (△)	1,610	△1,731
少数株主利益	19	40
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	1,591	△1,772

(四半期連結包括利益計算書)  
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月 30 日)	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月 30 日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失 (△)	1,610	△1,731
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△542	1,124
繰延ヘッジ損益	—	△3
その他の包括利益合計	△542	1,120
四半期包括利益	1,068	△611
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,058	△635
少数株主に係る四半期包括利益	9	24

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,759	△2,608
減価償却費	1,207	1,196
のれん償却額	265	257
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△57	△120
賞与引当金の増減額(△は減少)	△869	△905
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△84	△71
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△69	78
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	36	—
受取利息及び受取配当金	△337	△364
支払利息	289	261
有形固定資産除売却損益(△は益)	74	15
投資有価証券売却損益(△は益)	△89	—
投資有価証券評価損益(△は益)	56	3,584
売上債権の増減額(△は増加)	△6,588	19,584
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,501	1,736
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△652	△1,031
仕入債務の増減額(△は減少)	11,886	△8,652
その他の流動負債の増減額(△は減少)	190	1,421
その他	42	△32
小計	6,558	14,350
利息及び配当金の受取額	333	301
利息の支払額	△252	△227
法人税等の支払額	△4,605	△3,394
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,034	11,030
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△28	△111
投資有価証券の売却による収入	92	0
有形固定資産の取得による支出	△415	△562
有形固定資産の売却による収入	248	415
無形固定資産の取得による支出	△127	△50
その他	△14	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△244	△307
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△2,963	△150
長期借入金の返済による支出	△808	△271
自己株式の取得による支出	△0	△125
配当金の支払額	△635	△633
少数株主への配当金の支払額	△20	△20
その他	△88	△112
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,516	△1,313
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,727	9,409
現金及び現金同等物の期首残高	33,478	50,581
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,751	59,991

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第 1 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 6 月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	石油関連事業	ガス関連事業	航空関連事 業他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	202,486	14,306	3,252	220,044	—	220,044
セグメント間の内部売上高 または振替高	410	3	173	587	△587	—
計	202,897	14,310	3,425	220,632	△587	220,044
セグメント利益	1,761	711	380	2,852	114	2,967

(注) 1. セグメント利益の調整額 1 億14百万円には、セグメント間取引消去△12百万円および各報告セグメントに配分していない全社利益 1 億26百万円が含まれている。全社利益は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益および営業外費用である。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。

II 当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成24年 4 月 1 日 至 平成24年 6 月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 2
	石油関連事業	ガス関連事業	航空関連事 業他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	180,536	14,706	3,568	198,810	—	198,810
セグメント間の内部売上高 または振替高	353	22	103	480	△480	—
計	180,889	14,729	3,672	199,290	△480	198,810
セグメント利益または損失 (△)	△228	776	537	1,086	△28	1,057

(注) 1. セグメント利益または損失 (△) の調整額△28百万円には、セグメント間取引消去△10百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用18百万円が含まれている。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費、営業外収益および営業外費用である。

2. セグメント利益または損失 (△) は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っている。